



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 日本ピラー工業株式会社

コード番号 6490 URL <http://www.pillar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩波 清久

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 丸岡 和広

TEL 06-6305-2801

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日

平成27年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	10,947	7.6	1,590	15.9	1,640	11.5	1,003	38.1
27年3月期第2四半期	10,176	5.9	1,372	12.3	1,471	14.9	726	△9.0

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 666百万円 (△21.3%) 27年3月期第2四半期 846百万円 (△29.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	40.55	—
27年3月期第2四半期	29.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	41,068	33,517	81.6
27年3月期	41,466	33,099	79.8

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 33,517百万円 27年3月期 33,099百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,700	4.7	3,400	5.4	3,400	△1.4	2,100	5.7	84.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	25,042,406 株	27年3月期	25,042,406 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	296,295 株	27年3月期	295,775 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	24,746,334 株	27年3月期2Q	24,746,811 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、世界経済・競合状況・為替の変動等に関わるリスクなどがありますが、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。  
なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益が改善を続けるなか設備投資は緩やかな増加基調にあり、個人消費も雇用・所得環境の着実な改善を背景に底堅く推移するなど、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、緩やかな回復が続いております。一方、世界経済は、新興国が減速しておりますが、先進国を中心とした緩やかな成長が続いております。今後の動向につきましては、景気は緩やかな回復を続けていくとみられますが、新興国・資源国経済の動向、欧州における債務問題の展開、米国経済の回復のペースといったリスク要因もあり先行きには不透明なものがあります。

このような環境の中、産業機器分野向けシール製品は、設備投資の増加の傾向を受け、売上高は前年同期を上回りました。また、電子機器関連事業の半導体・液晶製造装置関連業界向けピラフロン製品は当四半期において半導体市況が低調ではありましたが、期間全体としては概ね堅調に推移し、売上高は前年同期比増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高109億47百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益15億90百万円（前年同期比15.9%増）、経常利益16億40百万円（前年同期比11.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億3百万円（前年同期比38.1%増）となりました。

連結売上高をセグメント別に見ますと、産業機器関連事業は49億51百万円（前年同期比5.1%増）、電子機器関連事業は59億52百万円（前年同期比9.7%増）、その他部門（不動産賃貸等）は43百万円（前年同期比11.8%増）となりました。

また、営業利益のセグメント別につきましては、産業機器関連事業は6億98百万円（前年同期比5.8%増）、電子機器関連事業は8億77百万円（前年同期比27.7%増）、その他部門（不動産賃貸等）は7百万円（前年同期比19.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は、現金及び預金が増加しましたが、受取手形及び売掛金並びに投資有価証券の減少等により前期末比3億98百万円減の410億68百万円となりました。また、有利子負債（リース債務は除く）は、前期末比1億63百万円減の6億92百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益等により前期末比4億18百万円増の335億17百万円となり、自己資本比率は81.6%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益15億35百万円、減価償却費4億54百万円等により15億80百万円（前年同期は12億59百万円）となりました。

また、投資活動によるキャッシュ・フローは有形及び無形固定資産の取得による支出5億40百万円等により△5億28百万円（前年同期は△6億円）となり、財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入金の返済による支出1億63百万円及び配当金の支払額2億48百万円等により△4億20百万円（前年同期は△4億11百万円）となりました。

その結果、現金及び現金同等物は前期末比6億26百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は131億87百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、現時点において決算発表時（平成27年5月8日）に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,929	14,542
受取手形及び売掛金 (純額)	9,600	9,160
商品及び製品	611	698
仕掛品	992	1,030
原材料及び貯蔵品	559	531
その他	430	463
流動資産合計	26,124	26,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	6,298	6,069
機械装置及び運搬具 (純額)	1,345	1,235
土地	3,648	3,660
その他 (純額)	218	378
有形固定資産合計	11,510	11,343
無形固定資産	75	88
投資その他の資産	3,756	3,210
固定資産合計	15,342	14,643
資産合計	41,466	41,068
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,239	2,847
短期借入金	516	449
未払法人税等	496	561
賞与引当金	578	602
その他	1,381	1,196
流動負債合計	6,213	5,658
固定負債		
長期借入金	339	243
退職給付に係る負債	1,183	1,196
資産除去債務	60	58
その他	570	394
固定負債合計	2,154	1,892
負債合計	8,367	7,550

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,966	4,966
資本剰余金	5,190	5,190
利益剰余金	21,151	21,907
自己株式	△145	△146
株主資本合計	31,162	31,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,424	1,056
為替換算調整勘定	453	480
退職給付に係る調整累計額	59	62
その他の包括利益累計額合計	1,937	1,599
純資産合計	33,099	33,517
負債純資産合計	41,466	41,068

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	10,176	10,947
売上原価	6,803	7,255
売上総利益	3,372	3,692
販売費及び一般管理費	2,000	2,102
営業利益	1,372	1,590
営業外収益		
受取配当金	37	45
為替差益	52	—
その他	18	21
営業外収益合計	108	66
営業外費用		
支払利息	6	4
為替差損	—	9
その他	2	1
営業外費用合計	9	16
経常利益	1,471	1,640
特別損失		
固定資産処分損	237	—
減損損失	60	105
災害による損失	38	—
特別損失合計	337	105
税金等調整前四半期純利益	1,134	1,535
法人税、住民税及び事業税	393	539
法人税等調整額	14	△7
法人税等合計	407	531
四半期純利益	726	1,003
親会社株主に帰属する四半期純利益	726	1,003

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	726	1,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	170	△367
為替換算調整勘定	△63	27
退職給付に係る調整額	12	3
その他の包括利益合計	119	△337
四半期包括利益	846	666
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	846	666

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,134	1,535
減価償却費	452	454
減損損失	60	105
賞与引当金の増減額(△は減少)	17	24
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△38	25
受取利息及び受取配当金	△41	△49
支払利息	6	4
固定資産処分損益(△は益)	237	—
売上債権の増減額(△は増加)	382	447
たな卸資産の増減額(△は増加)	△248	△89
仕入債務の増減額(△は減少)	△1	△397
未払消費税等の増減額(△は減少)	△40	68
その他	91	△102
小計	2,013	2,025
利息及び配当金の受取額	41	49
利息の支払額	△6	△4
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△788	△491
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,259	1,580
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△433	△540
固定資産の処分による支出	△125	—
その他	△41	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△600	△528
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△203	△163
配当金の支払額	△197	△248
その他	△10	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△411	△420
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	242	626
現金及び現金同等物の期首残高	11,631	12,561
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,873	13,187

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機器 関連	電子機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,709	5,427	10,137	39	10,176	—	10,176
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,255	1,326	2,581	8	2,589	△2,589	—
計	5,965	6,753	12,718	47	12,766	△2,589	10,176
セグメント利益	660	687	1,348	9	1,357	14	1,372

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額14百万円は、セグメント間取引消去1百万円及び棚卸資産の調整額13百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産に区分される土地及び建物の減損損失を特別損失として計上しております。なお、減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては60百万円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機器 関連	電子機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,951	5,952	10,903	43	10,947	—	10,947
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,299	1,356	2,656	8	2,664	△2,664	—
計	6,251	7,309	13,560	51	13,612	△2,664	10,947
セグメント利益	698	877	1,576	7	1,584	5	1,590

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去1百万円及び棚卸資産の調整額4百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。